

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス えんでこころ		公表日		令和8年3月10日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	活動に応じ、机やイスなどのレイアウトを変えてストレスがないように提供しました	人数に応じた活動の提供は引き続き行っています	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		利用人数に応じた職員の配置を行っています	今後も利用人数に応じた職員配置を行っていきます	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	理解しやすいように各場所にひらがなで場所の位置をシートにして掲示をし見える化を行っています。個々の特性に合わせた環境づくりを心がけています	今後も子どもたちの特性に沿った環境づくりを日々提供していきます	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	就業前、就業後の掃除、消毒は毎日行っています。安全点検チェックにて確認を行っています	今後も毎日の環境整備に努めていきます	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	子どもたちの日々の状況に合わせて活動等の場所など声をかけています	来所時からの子どもたちの状況などを見ながら1日を通して安心して利用できるように努めていきます	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		就業前、就業後に子どもたちの様子など申し送りを行っています。個別支援に沿った支援等毎日話し合っています。また月に1回ケース会議として状況などを話し合っています	会議や毎日の申し送り等で今後も周知していきます	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		半年に一度、定期的面談を行っています。ご意見を聞きながら会議の場で業務改善の話し合いを行っています	保護者の意見を聞きながら会議などを通して改善に努めていきます	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		職員が報告、連絡、相談など話しやすい環境を整えています。特に就業後は振り返りの時間を通して話し合いの機会を設けています	今後も職員が風通しのよい意見交換ができる環境を整えていきます	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	1	保護者の意見を取り入れながら課題等に向けた改善を職員周知のもと取り組んできました	引き続きご意見をいただきながら取り組んでいます	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		法人内の研修と事業所の研修を定期的に行っています。職員の学習する環境は常に提供しています	今後も研修など定期的に行います。職員がその時に学んでみたいことなども提供できたらと思います	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		法人全体の方針、事業所の方針を入れながら個々の特性に応じた活動の提供を行っています	今後も保護者、職員に事業理念などを周知しつつ個々に合わせたプログラムを提供していきます	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		保護者との定期的面談にて子どもたちの成長に合わせた計画を作成しています	今後も保護者との話し合いを定期的面談以外にも行いながら計画を作成していきます	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		毎日の申し送りや定期的な会議などで個々の子どもたちの状況を把握し、活動の内容を話し合っています	状況等に応じた話し合いを設けながら子どもたちの安心の活動へと繋がるように話し合っています	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		毎月のケース会議、定期的面談からの支援会議など定期的に行い、情報の周知を行っています	今後も左記にて行っています。状況の変化によりリアルタイムで共有できるよう努めていきます	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	個別支援計画等に取り入れています。保護者との面談など話し聞きながら作成しています。	引き続きガイドライン、支援項目に沿って計画を作成します。県の職員より移行支援についてアドバイスを頂いたので入れています	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		集団活動のプログラムは月ごとに作成しています。周知の場を会議などで行っています	今後も子どもたちの特性に合わせた支援プログラムを検討、作成していきます	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		月の中で運動、制作など毎日同じ活動にならないよう工夫しています	体力面、精神面など集団から気づきや学びが子どもたちに伝わる活動を提供していきます	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		1日の中で個別活動、集団活動を入れて毎日提供しています。支援計画から活動のアプローチにも個々で取り組んでいます	今後も個を見つめながら支援を行っていきます	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		支援開始前の打ち合わせは毎日行っています。前日の様子を含めて伝えています	今後も毎日行います。必要に応じて記録も活かしながら子どもたちの状況の周知を行っていきます	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		支援終了後の打ち合わせは1日の振り返りとして行っています。特記事項があれば全体共有の機会も作っています	今後も毎日行っています。多方面の職種より意見をいただきながら全体の情報共有に努めます	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		保護者との連絡帳にて記録をとっています。特記事項などワークスを通じて共有しています。経過などは会議でケースとして話し合い職員周知を行っています	今後も左記のとおり記録を取っていきます。またその情報を全体に周知するように意識づけした記録を取っていきます	

	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		モニタリングは毎月行い記録しています。会議でケースとして話し合い、日々の活動についての記載など記録しています	今後もモニタリングは毎月行っていきます。保護者とも共有しながら支援計画に反映させていきます
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4	1	複数の活動を組み合わせさせた支援を提供しています	引き続き取り組んでいきます
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	1	個人活動など個々の興味嗜好を聞きながら学びに向けた活動を複数提供しています	今後も保護者の意見や毎日の支援の中での活動を多く提供していきます
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		会議などは資格者が必ず参加しています	専門性を持った職員が会議に参加することでより多様にサービスが提供できるように努めています
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		必要時は行っていますが、事業所からは積極的に行っていません	個々のケースに合わせて情報共有を行っています
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		学校との年間行事、下校時間などは保護者経由で情報をいただいています。送迎時の対応などミスがないようにダブルチェックとして行っています	今後も少し先どりしながら下校時間など保護者と連携をとっていきます
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	新1年生に向けての利用は就学前施設と情報の共有を行ってきました	今後も行っていきます。就学後についても必要時に情報を提供していきます
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1	現在、該当者はいません	該当者が出た場合の情報共有など伝えていきます
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		3	交流はあまり積極的に行いませんでした	今後、地域のイベントなどの情報をキャッチしながら活動に活かせるように努めます
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	1	定期的な交流会、研修などは参加しました	今後も積極的に参加していきます。また研修内容を生かす療育に取り組んでいきます
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		連絡帳などで情報を共有しています。成長の中で保護者との面談やメール、連絡帳の媒体を通じて報告を行っています	今後も保護者とのコミュニケーションを大事にした支援に努めます
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2		家族の相談については随時対応し、個別支援計画も反映させています。家族対象の研修は設けていません	今後、必要に応じて機会を作るように努めています
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に行っています	今後も契約時に法人の目的や事業内容など丁寧に説明していきます。特に利用負担額については受給者証に基づいた説明に努めています
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		保護者との定期的な面談を設けています。子どもの様子や保護者との面談からニーズなどを聞いています	引き続き保護者との話の中で成長のニーズを見つめながら努めています
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		計画作成時には保護者に5領域の説明と具体的な支援方法を伝えています	今後も作成時には丁寧に説明を行います。引きつづきの案件も説明を行います
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		相談などはいつでもできるように電話やメールの媒体を通じて対応しています	引き続き必要に応じて対応を行っています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	2	今年度は父母の会は行っていません。法人のイベントにて交流の機会は設けています	法人のイベントの参加や希望に行っていきたいと思えます
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		今年度は苦情等ありませんでした。おこりうる場合の対応等、法人内で徹底しています	苦情が来た場合は真摯に受け止めると同時に適切に丁寧な対応、報告等を行っています
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		毎月、法人内で広報誌を発行しています。その月で行われたイベント、活動等を報告しています	引き続き、広報を活用して保護者にも周知していきます
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		保護者には契約時に説明しています。個人情報の管理なども徹底しています	引き続き、個人情報は説明し、管理等の取り扱いも保護者、職員に周知していきます
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		個々の障害の特性でコミュニケーションなどを聞き、子どもたちがスムーズに会話できるように心がけています	保護者と話し合いながらコミュニケーションの方法の変化があった場合、とっていきます。必要に応じて学校との連携も行っていきます
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4	今年度は地域交流はありませんでした	広報を活用しながら地域の情報をキャッチし、活動に活かしていきます
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		法人内の研修、事業所の研修など職員がマニュアルを周知し、また生かす研修を行っています	今後も研修の充実を図ります。研修が今後の療育にいかせるように発信を行います
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		BCPIは法人内で作成されています。定期的に避難訓練等を行っています	今後もBCPIに沿った訓練を行っています

非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		契約時に、子どもの医療情報、障害に対する観察の注意点を詳しく聞いています。	今後も医療情報はしっかりと聞いていきます。服薬などはお薬手帳などを見ながら統一した職員の管理のもと行っていきます
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		対象の子どもについては種類、症状など聞き、おやつや調理等の活動を提供しています。医師の指示書はいただいています。	契約時に食事に関する内容も聞きながら職員間で周知し、アレルギーに対する事故が発生しないように努めます
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		法人内で安全計画を設けています。毎月の安全チェックを行っています	引き続き、環境整備に努めていきます
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		契約時に話しはしていますが、取り組み内容まではお話していません	安全計画についての機会を設けて面談等の中で話していきたいと思えます
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		職員の業務の中で「気づき」をヒヤリハットとして提出し、今後おこらないように会議で話し合い周知しています	今後も事故につながらない身になる書類として職員に伝え、いかしていきます
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		現在、虐待行為などはありません。定期的に虐待の研修を行っています	今後も定期的な研修を行います。必要時は会議などで周知し、個別支援計画にも反映させていきます
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		現在、身体拘束は行っていません。定期的に身体拘束の研修を行っています	今後も定期的な研修を行います。必要時は会議などで周知し、個別支援計画にも反映させていきます